

■助産師基礎教育テキスト 2024年版改訂内容一覧表【第3巻】

2023年10月1日付発行

【改訂のポイント】

- ・書名を「助産サービス管理」に変更。「助産師が対象者に提供する助産サービスをどう構築するか」という視点からまとめました。
- ・助産管理の基本的事項、必要な情報に焦点を絞り、7章から8章立てとしました。
- ・国家試験出題基準の「助産管理」に関する項目を網羅し、より国試試験対策として活用できるよう改訂しました。
- ・病院・診療所・助産所・地域における助産業務管理について、最新の動向を反映しました。
- ・第8章「助産師および助産業務に関わる法と責任」を新設し、関係法規の重要なポイントを解説しました。

新(2024年版) 責任編集:成田伸	旧(2023年版) 責任編集:成田伸
書名「助産サービス管理」	書名「周産期における医療の質と安全」
第1章 助産サービス管理	第1章 周産期医療における質と安全の保証
1. 助産サービス管理とは 2. 助産サービス管理の基本的な要素 1 組織 (organization) 2 管理 (management) 3 組織風土とリーダーシップ 4 助産サービスのためのリソースとしくみづくり 3. 助産サービスと質の保証 1 医療の質の評価とその改善 4. 助産サービスの経済的側面 1 医療保険制度 2 診療報酬 3 健康診査, 分娩にかかわる費用 4 出産育児一時金 5 妊娠・子育てへの公的支援 (産後ケア関連等) 5. 次代に向けての助産サービスの構築 1 社会の変化と助産師に求められる役割 2 サービス提供の場 3 助産サービスの創出 4 助産師の働き方とキャリア	1. 日本の周産期医療の改善・改革の歴史 1 出産の「安全性」を高めるための医療改革 2 出産の「快適性」を守るための医療改革 2. 医療の質保証とその改善 1 医療の質とその評価 2 医療の質を保証するエビデンス
【書名、第1章の主な変更点】 ・書名を「助産サービス管理」に変更 ・旧第1章2・第4章・第5章1を統合し、新第1章を構成 ・「助産サービスの経済的側面」「次代に向けた助産サービスの構築」(ITを活用したサービスの多角化、助産師の働き方の変化など)を新設 ・執筆者の変更および内容の改訂	
第2章 周産期医療における助産師の役割	第2章 日本の周産期医療システム
1. 日本の周産期医療の改善の歴史 1 「出産の安全性」を守るための医療改革 2 「出産の快適性」を守るための医療改革 3 第三者による周産期医療の質の評価 2. 日本の周産期医療システムと助産師 1 周産期医療整備の開始 2 周産期医療体制の整備 3 周産期医療システム下での助産師の自律した活動 4 病院助産師によるウィメンズヘルスケア 5 助産師の活動としてのインターネットの活用 6 助産師の実践能力の保証 3. 国際的な周産期医療・母子保健と助産師 1 海外における周産期医療・母子保健と助産師 2 在日の母子・家族への支援と助産師	1. 周産期医療のシステム化と連携の構築 1 周産期医療機関の機能と役割 2 周産期医療対策整備事業による周産期医療体制の整備 3 オープンシステム・セミオープンシステム 2. 周産期医療の集約化と連携 1 周産期医療の現状 2 周産期医療従事者の現状と課題 3 周産期医療の集約化 4 周産期医療連携 3. 周産期医療システム下での助産師の活動 1 新たな助産師活動へのニーズ 2 院内助産システム 3 助産外来 4 院内助産システムにおける助産ケアの質の確保と向上 5 ITを活用した妊婦検診と助産師活動 6 ハイリスク妊娠を対象とした外来における助産師活動
【第2章の主な変更点】 ・旧第1章1・第2章を統合し、新第2章1・2を構成 ・旧第3章を新第2章3に統合し、アメリカ・イギリスにとどまらない、世界的にみた助産師の実践を解説 ・国家試験出題基準の「国際母子保健に関する課題」に関する項目を新第2章3で網羅。在日の母子・家族への支援を追加 ・執筆者の変更および内容の改訂	
第3章 地域保健福祉における助産師の役割	第3章 世界の周産期医療システム
1. 地域における助産サービス 1 地域における助産師の活動と連携 2 子育て支援 3 在宅の医療的ケア児への支援 4 危機的な状況にある女性や母子への支援 5 性教育とプレコンセプションケア 2. 地域における助産サービスの実際 1 子育て支援NPO 法人における助産師の活動 2 産科医療機関が少ない地域における開業助産師の活動	1. 世界の周産期医療システムと助産師活動 2. アメリカの周産期医療システムと助産師活動 1 アメリカの医療制度と周産期の医療提供システムの概要 2 ローリスク妊産婦・新生児に対する周産期医療体制 3 ハイリスク妊産婦・新生児に対する周産期医療体制 4 アメリカの助産師の育成とその活躍 5 アメリカの周産期医療システムからみた日本の課題 3. イギリスの周産期医療システムと助産師活動 1 イギリスの医療制度 2 イギリスの周産期の医療提供システム 3 ローリスク妊産婦・新生児に対する周産期の医療体制 4 ハイリスク妊産婦・新生児に対する周産期医療体制 5 イギリスの助産師の育成とその活躍 6 イギリスの周産期医療システムからみた日本の課題
【第3章の主な変更点】 ・旧第6章を新第3章に移行し、地域母子保健における最新の課題を踏まえて改訂 ・地域における助産サービスの多様な活動を紹介	

第4章 助産業務とリスクマネジメント	第4章 助産サービスの質管理
1. 医療安全とリスクマネジメント 1 リスクマネジメントとセーフティマネジメント 2 医療事故防止対策 3 損害賠償保険 2. 周産期におけるリスクマネジメント 1 周産期における医療事故の原因と対策 2 周産期医療におけるリスクマネジメント 3. 感染リスクマネジメント 1 周産期における感染リスクマネジメントの視点 2 医療施設における感染リスクマネジメント 3 周産期領域における感染リスクマネジメント 4. 災害リスクマネジメント 1 災害とリスクマネジメント 2 災害看護とは 3 災害時の妊産褥婦とその家族および女性へのケア 4 被災とこころのケア 5 災害への日常的な備え 6 災害発生時の対応	1. 助産サービスの質管理に必要な概念 1 質 2 顧客、要求 3 製品、サービス 4 組織 5 管理 6 SDCAマネジメントサイクル 7 標準、標準化 8 改善 9 質マネジメントシステム 2. 助産サービスと質の管理 1 助産サービスとは 2 顧客ニーズと助産サービス 3 助産サービスのためのリソース 4 助産サービスの質 5 助産サービスの質を管理する 6 組織による助産サービスの提供 7 組織風土の改革とリーダーシップ
【第4章の主な変更点】 ・旧第7章を新第4章に移行し内容を改訂、執筆者の変更 ・「災害への備え・災害対策」「感染症対策」の内容を強化	
第5章 病院における助産サービス管理	第5章 助産サービス管理の実際
1. 周産期医療・福祉における病院の役割と助産師 1 病院とは 2 周産期医療体制と助産師の役割 2. 病院における助産サービス管理 1 総合周産期母子医療センター 2 地域周産期母子医療センター 3 場に応じた助産業務管理の特徴	1. 助産サービス管理 1 助産サービス管理の視点 2 医療や看護の政策、施設や地域の特徴の把握 3 助産サービスのためのリソース 2. 病院における助産サービス管理 1 病院とは 2 周産期医療における病院の役割 3 総合周産期母子医療センターにおける助産サービス管理 3. 助産所における助産サービス管理 1 助産師の開業 2 開業の多様な機能と役割 3 助産所における妊産婦管理の実際：妊婦健康診査 4 助産所や出張介助における分娩管理 5 助産所の経営とスタッフ管理 6 開業にあたっての助産師に対する教育 7 助産所における助産サービス管理 4. 診療所における助産サービス管理 1 診療所とは 2 周産期医療における診療所の役割と現状 3 先駆的な産科診療所における助産サービス管理
【第5章の主な変更点】 ・旧第5章2(病院)を新第5章に移行。執筆者の変更および内容の改訂 ・新第5章2-3は[周産期病棟][混合病棟][外来][院内助産・助産師外来]のレベルを設け、基礎知識を整理	
第6章 診療所における助産サービス管理	第6章 地域における助産サービス管理
1. 周産期医療・福祉における診療所の役割と助産師 1 診療所とは 2 産科診療所の特性 2. 診療所における助産サービス管理 1 診療所における助産業務管理の特徴 2 診療所における助産実践能力の強化	1. 地域における助産サービス 1 地域における助産サービスの目的 2 地域における助産師の活動 2. 地域における助産サービスの実際 1 妊娠期から育児期まで切れ目ない支援の構築 2 地域における妊娠期の助産サービス 3 地域における育児期の助産サービス 4 地域における性と生殖に関する健康に対する助産サービス 5 地域の力を高める助産サービス
【第6章の主な変更点】 ・旧第5章4(診療所)を新第6章に移行。執筆者の変更および内容の改訂	

第7章 助産所における助産サービス管理	第7章 周産期におけるリスクマネジメント
1. 助産師と開業 1 助産所の定義 2 助産所の開設者と管理者 3 助産所開設者の義務 4 助産所の構造と設備 5 助産所の広告 6 分娩予約・同意書 7 助産所や出張分娩における分娩管理 8 嘱託医および嘱託医療機関との連携・協働 9 救急時の搬送と搬送基準 10 環境・設備・備品の整備 11 助産所における助産録とその管理 12 助産所の経営と人員管理 13 地域医療機関、行政との連携・協働 2. 助産所における妊産婦管理の実際 1 妊婦健診 2 分娩管理 3 産褥管理 3. 開業助産師の多様な機能と役割 1 妊娠中の健康教育 2 乳幼児期の健診・支援活動 3 産後ケア 4 地域での育児支援 5 診療報酬による母子への訪問看護 6 生と性に関わる健康教育，プレコンセプションケア 7 不妊症カップルへの支援 8 危機的妊娠への支援 9 災害時の福祉的避難の拠点	1. 医療安全とリスクマネジメント 1 リスクマネジメントとセーフティマネジメント 2 医療事故と医療過誤 3 医療事故とリスクマネジメント 4 医療法による安全管理体制の充実 5 医療安全のための情報公開とインフォームドコンセントの推進 6 医事紛争とその解決 2. 周産期における医療安全にかかわるリスクマネジメント 1 周産期における事故とリスクマネジメント 2 職能団体としてのリスクマネジメント 3 病院におけるリスクマネジメント 4 助産所におけるリスクマネジメント 3. 周産期における感染リスクマネジメント 1 周産期における感染リスクマネジメントの視点 2 医療施設での感染リスクマネジメント 3 周産期領域における感染リスクマネジメント 4. 災害リスクマネジメント 1 災害とリスクマネジメント 2 災害看護とは 3 災害時対応の基本原則 4 人々の健康や生活への影響 5 災害時の母子と家族，女性 6 被災とこころのケア 7 一般的な災害リスクマネジメント 8 災害への日常的な備え 9 災害発生時の対応
【第7章の主な変更点】 ・旧第5章3(助産所)を新第7章に移行、執筆者の変更および内容の改訂 ・「開業助産師の多様な機能と役割」を新設し、地域まで視野に入れた多様な役割と実践を紹介	
第8章 助産師および助産業務に関わる法と責任	
1.助産師の法的義務・届出、業務に関わる関係法規 1 戸籍法 2 刑法 3 保健師助産師看護師法 4 医療法 5 母子保健法 6 母体保護法 7 児童福祉法 8 地域保健法 9 成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律（成育基本法） 2.女性の支援に関わる関係法規 1 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法） 2 育児休業，介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（育児・介護休業法） 3 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律（性同一性障害特例法） 4 母子及び父子並びに寡婦福祉法 5 健康保険法，国民健康保険法 6 労働基準法 7 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法） 8 男女共同参画社会基本法 9 生活保護法 3.子どもの支援に関わる関係法規 1 児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法） 2 少子化社会対策基本法 3 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法） 4 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（医療的ケア児支援法）	
【第8章の主な内容】 ・第8章を新設。国家試験出題基準の「助産師及び助産師の業務に関わる法と責任」に関する項目を網羅 ・[法律の概要][助産師として重要なポイント]のレベルを設け、要点を整理	